

2019

7

July Vol.40

# JAしまねびより

今月の特集 島根のいいもの再発見!! 「出雲市 シャインマスクット」 出雲地区本部



八雲風穴 (出雲市 佐田町) *Xaonische*







島根には誇れる農産品がたーっさん!

# 島根のいいもの 再発見!!

直撃・生産者インタビュー

## 出雲市 シャインマスカット

7月は、出雲地区本部。出雲市西園町で、シャインマスカットの生産に取り組む桑原陽子さんにお話を伺ってきました。

### 夫の夢が、私の夢に

桑原さんは隠岐郡西ノ島町の出身。平成27年に出雲市アグリビジネススクールのおぶどうチャレンジ講座を受講しながら、認定農家の元で1年間の研修を受けつつ新規就農し、シャインマスカットの生産をはじめました。隠岐郡で就職した後、結婚を期に出雲市に移住。長年、主婦として家庭を支えてきましたが、子どもたちが高校3年生と中学3年生になり手が離れた頃、漠然と何か仕事をしなければならぬと考えていました。ちょうどその頃、会社員の夫が定年後に農業をやってみたいという夢を持ち始めた時期でした。まだ会社員として働



お話を伺った桑原陽子さん。

### 作品を作りあげていく感覚

桑原さんは現在、JAのリースハウス事業を活用して約10aのハウス3棟でシャインマスカットを栽培。苗木は3年で実を付け5年で大人の木になるといわれており、今年で5年目になります。栽培は3棟それぞれ出荷時期をずらすため①ビニールを二重にして重油を焚く②ビニールを二重にするが重油を焚かない③サイドを覆わない、と温度条件を変えて生育させ7月から9月にかけて出荷しています。栽培方法は花が咲き始めた頃に花穂整形をする必要があり、花穂の房元付近の2玉分の花芽を目印として残し、

いている夫に代わり、先に土台を固めるという気持ちで受講と就農を決意しました。



桑原さんは、出雲市アグリビジネススクールのぶどうチャレンジ講座を受講し、ぶどう栽培の基礎を学んだ。



房元付近に2玉分残し、種の有無や糖度のチェックに利用。赤いシールは成長の度合いを示す目印のために貼っている。



JAのリースハウス事業を活用して約10aのハウス3棟で栽培をおこなっている。桑原さんのハウスは写真奥の2棟と、離れた場所にもう1棟ある。

房先部分を3cm程度残してほとんどの花穂を切除。その後実がなりはじめると粒を大きくして玉揃いを良くするため、摘粒していきます。房元の2玉は種が無くならないかどうかが、糖度が18度以上になっっているかなどの収穫の目安に利用。それでもマニュアル通りにいかないことも多々あるとか。試行錯誤しながらひと房ひと房、理想の形と味を求めて手をかけていく過程は作品を作りあげる感覚に似ています。



## 時間がいくらあっても 足りない

作業は花穂整形や摘粒だけではありません。秋に葉が落ちて冬に剪定、気候を見極めながら温度管理を繊細に行い、ようやく付いた花穂。実が付きはじめると栄養が実に集中し大きくなるよう、脇芽を摘んでいきます。房は日差しが強くなり過ぎると黄色くなってしまいます。適度に光合成を促しながらシャインマスカット特有の綺麗な黄緑色になるよう、袋に入れるか紙の傘を被せて日焼けを防止。摘粒後もしらない粒を取って玉直しなど行います。作業の過程で、成長の早いもの遅いものを見極め赤と青のシールを貼って区別していきます。桑原さんのハウス1棟



ひと房ひと房丁寧に傘を被せていく桑原さん。日焼け防止のためには欠かせない大切な作業。



1棟10aのハウスには、20本の木が植えられている。2,000を超える房が所狭しと連なり、ハウス一面に明るい緑の光景が広がる。

## 大変さ、すべて吹き飛ばす 収穫の夏

には4列20本のシャインマスカットを植樹。ハウス1つで2,000を超える房があることを考えると、作業は膨大な量になります。

就農当時は桑原さんの周りに農業に関わっている人がいなかったため、わからないことがあっても気軽に相談できる人がいませんでした。何もかもがはじめての経験でわからないことだらけ。アグリビジネススクールや研修で実地と座学を学び、ある程度農業をイメージしていましたが、実際に就農してみると想像以上に大変な作業が続くことを

痛感しました。それでも講習会や青年部会などの会合やイベントに積極的に参加し顔を覚えてもらうことで、相談しやすい環境が整いました。栽培の基本的なことは主に県の普及員から指導を受けますが、ちよつとしたコツや効率的な作業方法などは、先輩農家さんから教えてもらっています。



取材時は、あと1カ月で収穫という時期。実はこれからまだまだ大きくなり、糖度も増したところで収穫の時を迎える。

ます。そうして1年かけてさまざまな作業や課題に対処し、いよいよ収穫の時。自分が手をかけて育ててきた大きい玉で形の良いシャインマスカットを収穫する瞬間に、これまでの大変さが吹き飛びます。

## シャインマスカットの美味しさを知ってもらいたい

桑原さんの場合、子育てが一区切りついたタイミンと、ハウスや土地をJAGコーデイネイトすることで、大きな初期投資をかけずにスムーズに新規就農することができました。トラクターなど大型重機を運転する必要のないぶどうの栽培は、女性でも参入しやすい品目なのも就農理由の1つです。若者の野菜・

フルーツ離れが心配されるなか、当面はシャインマスカットの栽培技術を磨きたいという桑原さん。多くの人にシャインマスカットの香りと極上の甘さ、皮ごと食べられる気軽さと美味しさを広めたいと考えています。



多くの人に美味しいシャインマスカットを食べてほしいと語る桑原さん。ぶどうのアクセサリを身につけるほど、ぶどうへの愛が感じられる。

## シャインマスカット 一口メモ

シャインマスカットは、近年品種改良されたぶどうの中で最も美味しい、といわれるぶどうの1つ。青ぶどうながらも糖度が18度以上と高く、酸味が少なく果汁が豊富で皮がパリっとした食感が特徴。さらに、以前はぶどうといえば「皮を剥く、種を出す」ということが面倒と感じる人がいたかもしれないが、シャインマスカットはそんな概念を覆したことが人気の理由でもある。出雲市は日本で有数のデラウェアの産地だが、贈答用を中心に人気が上がっているシャインマスカットの生産も拡大に向けた取り組みをはじめている。





# 出雲地区本部 JALしまねラピタ農産物直売会



産直へようこそ!!

可成り産物大地域の特産品「ラピタ」  
島根県内の産直店舗を「紹介」します。



直売会の石富会長

出雲市の人々に長年愛されている「ラピタ」。愛され続ける理由の一つである産直コーナーを支えているのが「JALしまねラピタ農産物直売会」だ。同会の会員数は約600人で、ベテランから若手まで幅広い生産者が加入している。同会ならではのこだわりとして、同会では農産物などを店へ持ち込むことを「出品」と呼んでいる。一般的に使用される表現としては「出荷」などもあるが、来店者に質の高いものを提供できるように自身が育てた農産物にプライドと責任を持ち、ひとつの「商品」として売り場に並べようという意識を共通のものとするため、あえて「出品」を使用している。

そのための会員のレベルアップは、同会が特に積極的に取り組んでいることのひとつだ。漬物など加工品の出品者に向けた食品衛生講習会、農産物の品質・収量の向上を目指すレベルアップ講習会など従来から購入できると好評だ。

句の野菜もさることながら、盆や彼岸、年末シーズンの花木も産直コーナーの人気商品。「近隣のスパーなどと比べても屈指の品質と品ぞろえ」と担当者も自信をのぞかせる。ラピタは全店が島根県の「しまね地産地消推進店」の認証を受けている。安心・安全な出雲の農産物は、プライドを持って「出品」する同会の会員によって支えられている。



安心安全な農産物には生産者の愛情が詰まっている



イベントにも工夫を凝らす。感謝祭では軽トラが登場!

## 【ラピタ店舗紹介】

- ・本店 TEL: 0853-21-6060
- ・はまやま店 TEL: 0853-30-7770
- ・みなみ店 TEL: 0853-22-3733
- ・ひらた店 TEL: 0853-63-7300
- ・佐田店 TEL: 0853-84-0262
- ・多伎店 TEL: 0853-86-2444
- ・湖陵店 TEL: 0853-43-3535
- ・大社店 TEL: 0853-53-2800

※所在地、営業時間などは各店舗へお問い合わせください。



JA  
自己改革  
実践中

JAグループ島根

## 島根県とJAグループ島根が協力 より良い島根に向けて

島根県とJAグループ島根は6月28日、松江市殿町の県庁で「包括業務提携に関する協定」と「島根県農業産出額100億円増の早期達成に向けた共同宣言」を締結しました。締結式では丸山達也県知事とJA島根中央会の竹下正幸会長（6月28日現在）が出席し、協定書と共同宣言それぞれに署名。県とJAグループ島根が連携・協力することで地域の様々な課題に迅速に対応し、島根農業の活性化や組合員・地域住民が安心して暮らせる社会を目指します。

県はこれまで県外の民間企業と包括業務提携に関する協定を締結していましたが、県内の組織と協定を締結するのは初めてとなります。

「島根県農業産出額100億円増の早期達成に向けた共同宣言」では、①水田園芸などを柱に、収益力の高い魅力ある農業の確立②有機農業やGAPなど島根の強みを活かした特色ある生産の振興③将来にわたって島根農業を支える中核的な担い手の確保・育成——などを柱に、農業算出額100億円増加の730億円を目指すべく全力を尽くすことを宣言しました。

「包括業務提携に関する協定」の内容は、環境配慮への取組、子育て支援や高齢者・障がい者支援、地域や暮らしの安心・安全および災害対策についてなどの10分野。それぞれに具体的な取組内容が決められています。JAグループの総合力を駆使し、県と連携しながら地域の活性化や県民サービスの向上を目指します。

丸山知事からは「農業、農村、生活を支えているJAグループと様々な分野で連携できることを心強く思っている。農業産出額100億円増の達成に向けて、島根農業をより一層魅力あるものにすべく、認識を合わせて一緒に取り組んでいきたい」とお話しいただきました。

竹下会長は「農業が地域の活性化に貢献することによって、地域の皆さんが元気になる。また農地を守ることで、美観や災害が起こりにくい状況をつくることができる」と期待し、「農業振興の発展のための向かうべき方向は県と一致していると認識している。100億円増達成のため、県と協力し進めていきたい」と意気込みました。



竹下会長（左）と丸山知事



JA YOUTH

## 一所懸命 青年連盟

### 雲南青年連盟

雲南青年連盟は平成17年に設立し、現在は水稻、繁殖和牛、野菜、果樹農家と職員盟友の20名で活動をしています。毎年、島根県JA青年大会で行われるスポーツ大会では常に優勝を狙って、農業で培った体力をいかに発揮しています。

雲南独自の活動としては、小学生親子を対象とした「めぐりキッズスクール」の講師として、親子と交流をしています。これまではかかし作りをして地区本部駐車場へ飾ったり、年末には一緒に杵と臼を使った餅つきをしたりしていました。今年度は、6月22日に盟友のぶどう園にてぶどう狩り体験を行い、その後のヨーグルトを使ったピザ作りではレンガで作った窯でピザを焼き、親子と一緒に食べて交流ができました。

今後はもっと盟友数を増やして、若手農業者がいろいろな農青連活動を通じて、情報交換や交流を広げたいと考えています。



ぶどう狩りの前にぶどうの生育について説明をする盟友



ピザの生地づくりも盟友が講師となり親子に説明しました



レンガで作ったピザ窯で美味しいピザが焼き上がりました



やすぎ

## 園児の手作りてるてる坊主 店内を明るく♪

直売所なかうみ菜彩館は5月29日、みゆき保育園の年長さん18人とてるてる坊主作りを行いました。この企画は、稲田佳代店



長が梅雨時期の店内を盛り上げたいと考え、市内の保育所や園に、てるてる坊主作りの協力を毎年依頼しています。

園児は、稲田店長や安来東支店の職員からてるてる坊主の作り方を教わりながら、思い思いに顔や模様を描き、地元の安来節のどじょうすくいにちなんで手ぬぐいを頭にかぶせたオリジナルのてるてる坊主を完成させました。園児が一所懸命作ったてるてる坊主は梅雨の時期に店内に飾られ、店内と来場者の心を明るくしてくれました。



雲南

## 地元の新弟子応援 鳴戸部屋に仁多米50袋贈る

雲南市、奥出雲町、飯南町の有志16人と雲南地区本部は6月5日、東京都にある大相撲の元大関・琴欧州の鳴戸部屋にブランド米「仁多米」50袋（1.5ト）を贈りました。

今春、雲南市の三島慧太さんと松江市の山根駿也さんが新弟子として鳴戸部屋に入ったことや、新たに部屋が開設されることを受け、雲南市掛合町の景山俊太郎さんが「鳴戸部屋へ雲南米を贈る会」を立ち上げました。

景山さんは「この一歩が鳴戸部屋との長いつながりになることを期待するとともに、新弟子の皆さんには伸び伸びと頑張ってもらいたい」と話しました。



元大関・琴欧州（左）と景山さん



鳴戸部屋の皆さんと記念撮影。米俵を持つのは三島さん（左）と山根さん

次回

お知らせ

## 8月号は 総代会特集!



(写真は昨年のももの)

6月30日に開催した第5回通常総代会の様子は、8月号の特集誌面にてご紹介いたします。

本来であれば7月号にて皆さまにお繋ぎすべきところですが、作成スケジュールの都合から8月号への掲載とさせていただきます。

なお、総代会情報は、先行して当JAのホームページへ掲載していますので、ぜひご覧ください。



<https://ja-shimane.jp/archives/1968/>



くにびき

## プロから学ぶ!イタリア料理に挑戦! サン・サン料理教室開催

くにびき地区本部は5月28日、教育文化センターSan・san館で「シェフに学ぶイタリア料理」を開催し、17名が参加しました。

今回は、松江市春日町でイタリアンレストラン「キッチンアンドカフェ フィーロ」を経営する古谷隆志氏を講師に招き、「穴道湖のしじみのペペロンチーノ」「鶏もも肉と新ジャガのオープン焼き～ローズマリー風味～」 「春野菜のサラダ～シチリア風レモンのドレッシング～」 「イチゴとマスカルポーネチーズのティラミス風」の4品にチャレンジ。

講師から、調理方法や注意点、味付けのコツについて説明を受けた後、早速、料理を開始。「パスタを茹でるときは、お湯の量に対し、1%の塩を入れるとおいしく仕上がる」とアドバイスを受けながら、オリーブオイルや香草など、イタリア料理には欠かせない材料を使い、丁寧に調理していきました。

参加者は、「日頃、イタリア料理は作らないので、家庭でも挑戦し、家族に振る舞いたい」「野菜の茹で方や切り方も学べてよかった」と感想を語りました。



古谷講師（左から2人目）から指導を受ける参加者



出雲

## フラワーフェスティバル 父の日に合わせ開催

J Aしまね出雲花卉部会は「父の日」を前にした6月8、9日の両日、同J A出雲地区本部の生活購買店舗ラピタで「フラワーフェスティバル（花の販売・展示会）」を開催しました。30年以上前から続く恒例のイベントで、前島信行部会長は「父の日にも花を贈ってもらおうと、毎年この時期に開いています」と趣旨を話しました。

生産者自ら切花や花木、アレンジメントを販売し、消費者と交流したほか、出雲産の花を中心とした展示会では52点の花卉が会場を彩りました。

8日には同部会から同地区本部の岡田達文副本部長と市農林水産部の金築真志部長に花束を贈呈し、PRしました。



部会員から岡田副本部長（左奥）と金築部長（左手前）に花束を贈呈

斐川

## 園児が枝豆の種まき

斐川地区本部の担い手担当職員（通称：TAC）は6月10日、食農教育の一環として、あい川保育園と出西保育園で園児たちに枝豆（ゆかた娘）の種まきを指導しました。はじめに枝豆について説明し、つぎに黒マルチに穴を開け、黒マルチが無い圃場には15センチ間隔に印を付けたビニールロープを用意し、園児たちが印に沿って指で穴を掘り「はやく大きくなってほしい！」と言いながら一粒ずつ丁寧に種をまいていきました。両保育園では食農教育に力を入れていて、今回まいた枝豆だけでなく他の野菜も育てており、園児たちは水やりや、草取りなどの世話をしながら管理していきます。8月中旬には、収穫した枝豆を園で調理し、給食やおやつとして味わう予定です。



出西保育園の園児たち



あいかわ保育園の園児たち

隠岐

## 農産物生産者協議会総会を開催

隠岐郡隠岐の島町の総合体育館内会議室で6月21日（金）、隠岐地区本部管内の野菜、椎茸、花卉および果樹の生産者で構成される、隠岐農産物生産者協議会の総会を開催しました。

隠岐農産物生産者協議会は、野菜部会、椎茸部会、花卉果樹部会で構成されており、各部会で毎年、島外視察研修、技術講習会等を積極的に開催し、生産技術の向上を図っています。

総会では、平成30年度の活動報告があり、野菜部会において乾燥野菜への取り組みが図られ、商品化されたことなどについて報告がありました。また、令和元年度の活動計画等について協議し、地産地消の拡大を目指し活動を確認し閉会となりました。



隠岐

どうぜん

## 隠岐郡畜産共進会 ふく号グランドチャンピオン

6月12日（水）西ノ島町船越の畜産振興施設を会場に「隠岐郡畜産共進会」が盛大に開催されました。隠岐島の各地域から選抜された黒毛和種牛が、1区（子牛の部）に10頭、2区（若雌の部）に15頭の計25頭出品されました。審査員による発育・資質などの厳正な審査の結果、海士町の戸嶋豊さんの愛牛「ふく号：若雌の部首席」が見事グランドチャンピオン牛に選出されました。この結果を受けて、今年度より隠岐郡出場枠が1頭増え2頭となった「島根県種畜共進会」に、「ふく号」と2区2席の隠岐の島町の田中井秀和さん出品の「ひさめぐみ号」が出場することになりました。昨年の島根県種畜共進会では、隠岐の島町の高井芳江さんの愛牛「しげしげ号」が隠岐から初のグランドチャンピオンに輝きました。隠岐海峡を渡った優勝旗が今年度もとどまるよう連覇を目指し、隠岐の牛の品質のアピールと益々の和牛産地に繋がることを心から祈念します。





いわみ  
中央

## 西部3地区女性部が 浜田で交流

いわみ中央女性部は6月12日、西部3地区女性部ふれあい研修会に参加しました。この企画は西部(島根おおち・西いわみ・いわみ中央)地区本部女性部員が一堂に会し、親睦を図ることを目的に開催しているもので、今年で7回目を迎えました。

今年はいわみ中央女性部が事務局となり、地域の特色を生かしたスケジュールで2地区総勢約70名の女性部員を迎えました。

午前石見豊ヶ浦(国指定天然記念物)へ観光。豊ヶ浦の歴史や珍しい地形、化石などボランティアガイドの話聞きながら散策しました。午後は、体を使ったレクリエーションで歌ったり踊ったりして親睦を図り、その後、家の光記事活用で「幸運を呼ぶポンポン」をそれぞれ作成しました。終始、笑顔の絶えない楽しいひと時を過ごし、来年度の再会を楽しみに会場を後にしました。



石見銀山

## 鳥井小学校児童が販売体験

大田市ぶどう生産組合は6月14日、大田市長久町のJ Aグリーンおおだで「デラウェア」の試食宣伝を行いました。

生産者4名が店頭立ち、デラウェアを直接消費者にPRしました。

また、大田市鳥井町の鳥井小学校4年生10名も体験学習の一環として、生産者と一緒に試食宣伝を行いました。

同校の3~4年生は年間を通して、デラウェアの栽培体験を行っていますが、この販売体験は初めての取り組みとなります。

児童は販売、呼び込み、試食と役割を分担し、「美味しいぶどうを食べてください」と消費者に元気に声をかけ、大田市のブドウをPRしました。



試食宣伝を行った鳥井小児童と大田市ぶどう生産組合の組合員

西いわみ

## 子どもたちが 田植えと泥んこ遊びを体験

(有)赤雁の里(代表渡邊哲朗)とJ Aしまね西いわみ地区本部は6月9日、益田市赤雁町の農村公園赤雁の里で「農村歳時記」と名付けた農業体験教室を開き、児童らが田植えと泥んこ遊びを体験しました。

当日は児童や保護者、関係者など約45名が参加し、新元号「令和」の文字をうるち米「きぬむすめ」と古代米の一つ「紫黒米」を使って描きました。関係機関職員が講師役となり、子どもたちに苗の植え方のコツを指導しました。

田植えを終えた子供らは、田んぼの中で旗とり競走やそり遊びを楽しみ自然と親しみました。



島根  
おおち

## (株)スパーク山陰フェア

広島県の地域密着型スーパー(株)スパークで6月8日(土)、島根県の青果物と特産品を揃えた山陰フェアが開催されました。広島市内のスパーク中山店(東区)、浜田店(安芸郡府中町)の2店舗で、いわみ中央地区本部、西いわみ地区本部と共に参加し、島根おおち地区本部からも職員が店頭立ち、地元産サニーレタスや菌床椎茸、さくらんぼ等の野菜や果実のPRや販売を行い店頭は賑わいました。

島根おおち地区本部と(株)スパークは、島根おおち野菜ブランド「愛菜の郷」の出荷をはじめ、毎年11月から12月には管内の加工場で製造している杵つき餅の職員による実演販売、また出荷している農畜産物への理解と関心を高めていただくため、管内産地の視察を実施するなど30年以上の交流を続けています。

島根おおち地区本部では、県内外の多くの方に管内の農畜産物を知り、食べていただけるよう、積極的なPR活動を行っています。





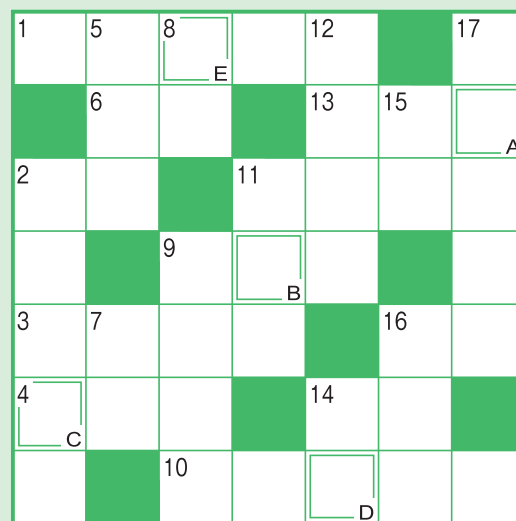
## タテのカギ

- ② 夏休みの最終日に慌てて片付ける子もいます
- ⑤ 酒のお供です
- ⑦ 建具の滑りを良くするために敷居に塗ることも
- ⑧ 脂——、糖——、タンパク——
- ⑨ 野球のピッチャーが登る所
- ⑪ その人が住んでいる所。彼は——の名士だ
- ⑫ ロケットが飛び立つ先
- ⑭ 鶴と並んでめでたい生き物
- ⑮ 芝居の最後に下ろす物
- ⑯ 上野動物園生まれのシャンシャンは何の動物？
- ⑰ イチゴ味やメロン味のシロップを掛けて食べます。パピンスやハロハロもこの一種

## ヨコのカギ

- ① 令和元年は8月8日。暦の上ではもう秋です
- ② 日焼けした後にできることも
- ③ 彼女の料理の腕前は——はただしだ
- ④ アップの反対語です
- ⑥ 竹や梅と並んでめでたい植物
- ⑨ こすれてすり減ること
- ⑩ 五輪で3位の選手の首に掛けられます
- ⑪ 辞書で四字——の意味を調べた
- ⑬ おこわを竹の皮でくるんだ中華——
- ⑭ 握りずしを数えるときに使う言葉
- ⑯ フランスの首都。花の都といわれます

二重マスの文字を A～E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？



答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

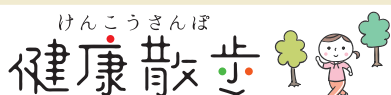
## 応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒697-0024 浜田市黒川町3741番地  
JAしまね いわみ中央地区本部 ふれあい課 「クイズ」係  
2019年8月5日（月）（当日消印有効）

## ◆先月号の答え◆ 「ブルーベリー」



・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはありません。



## 食中毒に気をつけて

JA島根厚生連

食中毒は『腹痛』、『下痢』、『嘔吐』等が主な症状の、飲食物による健康障害です。ひとくちに食中毒といっても、その種類や原因により流行時期や症状にも違いがあります。そこで、食中毒のことを知り、食中毒にかからないように備えましょう。

### ◎食中毒には次の5種類があります。

- ① 春や秋の旬の時期に発生しやすい『自然毒食中毒』
  - \* 動物性…フグ、毒貝など
  - \* 植物性…毒キノコ、カビ毒、毒草など
- ② 夏にピークがやってくる『細菌性食中毒』
  - \* 感染型…カンピロバクター、サルモネラ、腸炎ビブリオ、赤痢菌など
  - \* 毒素型…黄色ブドウ球菌、ボツリヌス菌、セレウス菌など
- ③ 寒い季節(冬)に発生しやすい『ウイルス性食中毒』  
ノロウイルスなど
- ④ 食品内に含まれることで発生する『科学性食中毒』  
水銀、鉛、カドミウム、農薬、殺鼠剤、メタノールなど
- ⑤ 魚介類などの生食に注意!! 『寄生虫食中毒』  
アニサキス、クドアなど

### ◎これからの季節は『細菌性食中毒』が多くなります。予防を心がけましょう。

#### ☆石鹸で正しく手を洗いましょう。

- ① 調理を始める前 ② 生肉や魚、卵などを取り扱う前後 ③ 食卓につく前
- ④ 残った食べ物を扱う前 ⑤ 調理中のトイレの後や鼻をかんだ後
- ⑥ オムツ交換や動物に触れた後



#### ☆毎日の食事で気をつけましょう。

- ① 食材を買う時…新鮮食品は新鮮な物を買ひ物の最後に買い、寄り道をせず早く持ち帰る。
- ② 保存する時…持ち帰ったらすぐに冷蔵庫や冷凍庫に、肉、魚、野菜などは個々に保存。
- ③ 調理する時…\*野菜は必ず流水できれいに洗う。\*肉や魚は十分に加熱する。(中心部を75℃1分以上) \*まな板や包丁は肉用、魚用、野菜用と使い分けると安全。\*生ゴミは菌の温床となるので、こまめに処理。
- ④ 食べる時…清潔な食器を使う。調理後、室温で長時間放置しない。
- ⑤ 残った時…清潔な容器に保存。時間が経ちすぎた物や、少しでも怪しいと思った物は食べずに捨てる。

あらためて、確認をしていただき、安全な食生活の参考にしてください。



強い稲を作る！  
～水稻青空講習会～

6月3日～6日にかけて各地域にて水稻青空講習会を開催し、45会場で325名の参加がありました。講習会では、今年の生育状況を踏まえ、6月のポイントとして水管理やスタミナ肥、病害虫対策についてJAの指導員から説明がありました。

「水がある地域は、間断かん水を行い水管理をして、ケイ酸加里やマルチサポート2号、塩化加里等をスタミナ肥料として施用してください。その後10日程度の中干しをして強い稲を作ってほしい」と話があり、その後参加者は、熱心に質問されていました。

今年は管内では、暖冬の影響で山間部は水不足が発生しており、地域によっては代掻きや田植えが出来ていない水田もあるという状況もありました。自然相手のコメ作りですが、米農家の皆さんの長年の経験をもとに今年も豊作を祈っています。



担い手巡回人間ドックで  
健康管理

6月12日、JA島根厚生連と連携して担い手人間ドックを実施しました。この取り組みは、年2回開催しており、島根県厚生連の大型検診車が地域に出向き、安価で短時間で気軽に受診できるとあって、今年も32名が受診されました。2014年にスタートしたこの検診は農業振興支援事業とJA共済連島根の助成金を利用し、農家の負担を1万2千円に抑え受診できます。TAC（担い手に向くJA担当者）が認定農業者や集落営農法人、大規模農家に出向き受診を呼びかけました。2回目は11月に実施する予定です。今後も担い手の健康管理の負担を減らすためにも多くの受診を呼びかけていきます。



島根フェアで地元農産物を  
アピール！

6月8日、広島県のスパーク中山店・浜田店にて、島根県西部3地区本部（島根おち・西いわみ・いわみ中央）は、「島根フェア」を開催しました。

当日は、前日の大雨で天候が心配されましたが、雨もあがり定期的な開催と事前告知効果もあって来店者も多く賑わいました。

当地区本部では、小松菜、ミニチンゲン菜、葉ねぎの有機栽培をはじめ、いんげん豆、菌床椎茸、乾椎茸、もぎたてとまと（トマトジュース）を販売しました。乾椎茸は、袋詰め放題を行い来店者の方には大変喜ばれました。

この「島根フェア」を継続して行い「いわみ中央地区本部の農産物」を広くPRし、生産者の所得向上に努めます。

次回開催は、10月12日（土）を予定しています。





# あぐりニュース

## 技術・生産意欲向上を目指して 岩地氏・三浦氏受賞！

6月6日、島根県椎茸生産者組合協議会主催のもと生産者の技術向上・生産意欲向上ならびに島根県産の原木乾椎茸消費拡大を目的とした令和元年度島根県乾椎茸品評会を開催しました。

各地から品質の高い乾椎茸108点の出品があり、当地区本部からも31点の出品をしました。5月30日に審査会を行い厳正な審査の中、優秀賞（日本椎茸農業協同組合連合会会長賞）に旭町の岩地正男さん、同じく優秀賞（一般）日本きのこセンター理事長賞）に弥栄町の三浦功さんが受賞をされました。

近年は一昨年からの寒波、昨年の猛暑や暖冬などの異常気象が続いており、良品や規格品を揃えるのは厳しかったのではないかと思います。

島根県椎茸生産者組合協議会会長の野津強会長はあいさつの中で「生産者の高齢化、後継者不足など年々椎茸情勢も厳しくなっている。行政には明るい光を農産物にも向けてほしい」と話されました。

J Aとしても、島根県、種苗メーカーほか関係機関と連携、協力し乾椎茸生産の維持、発展に努めていきたいと思えます。



## 消費税増税に向けて いわみ中央農業青色申告会総会

いわみ中央農業青色申告会（会長 森井和朝）は6月中旬、第3回いわみ中央農業青色申告会総会を開催し13名が出席しました。会長は「すべての会員がそれぞれ異なる経営体であるが統一した研修の場を設定しています。今後の経営の参考にしていただきたいと思えます」と挨拶しました。

総会終了後、大田市より川上眞次税理士を講師に招き「農業簿記および税務申告の注意事項について」研修会を行いました。10月の消費税増税に伴う質問等もあり有意義な研修会となりました。



## 農業用廃プラスチックの 回収を行いました。

6月19日・20日、廃プラスチックの回収を行い、全体で約5,800kgの廃プラスチックを回収しました。

内容は、空の肥料袋、黒マルチ、育苗箱、ハウスビニールと多種にわたり回収を行いました。

次回は11月に回収を予定しており、作業の中で使わなくなった物があれば案内を行いますので、その際にはぜひとも持参ください。併せてどれが回収できるものかご不明な事があればお近くの営農経済センターまでご相談下さい。





# 産直トピックス

【第18回 6月5日】

始めに講師である島本職員のあいさつで「そろそろ梅雨に入るが、平成5年の冷夏で米不足をおちいった事を思い出す。今年も7月8月は雨が多いだろうと聞くが、コメの出来が気になるところだ。」と農家にとっては、今後の気象状況に不安を持つところですよ。

座学は「キュウリ低支柱栽培」について話があり、低支柱にすることで、風で倒れにくく、乾燥にもよく耐え長期間収穫することができます。また、ジャガイモや玉ねぎの病気についても話を聞きました。



そして、座学後は、圃場に行きトマトの支柱の設置とサニーレタスの定植をしました。ジャガイモ・玉ねぎはそろそろ収穫の時期を迎えそうです。次回は、収穫です。

## 6月の営農塾

【第19回 6月9日】

今回は、作物の収穫がメインで、ソラマメの種取り、玉ねぎの収穫、ジャガイモの収穫、トマトの誘引をしました。

ジャガイモの収穫では、2種類の品種（男爵とアンデスレッド）を掛け合わせて栽培したものもあり、赤色（アンデスレッド）になるか男爵になるか興味津々で掘ってみると、アンデスレッドと男爵両方が収穫できましたが、赤色のアンデスレッドのほうが多く収穫できました。



最後に5月22日に定植したトマトの誘引をしました。親づるを残し、2本立てにしていきました。もう直径7cmくらいの実が付いています。塾生の皆さんもたくさん収穫できたこと大変喜んでおられました。収穫した作物は、それぞれ持ち帰り家族でいただきます。

半年が経過した塾生の皆さんも営農塾で学んだことがこのように良い結果となったことにみんな感激していました。



## 6月の育成塾

【第2回 6月18日】

前半は「肥料・堆肥の種類と使い方について」J Aの島本宏職員より、肥料には、無機質肥料と有機質肥料があり、窒素・リン酸・カリの成分をしっかりと理解して上手に使い分けをしようと、わかりやすく説明がありました。

後半は「種子及び播種・育苗について」島根県西部農林振興センター浜田農業普及部の大西まどか技師が話をされました。種子によっては、フィルムコート（着色処理）としてあり種子の取り違えと誤食の防止）、ペレット種子・コーティング種子（播きやすくするため）やプライニング種子（発芽促進処理）が有ることなど、受講生も興味深く聞きっていました。最後に、セルトレイを使っての種子の撒き方の実演と、管理の説明を聞きました。次回は、7月16日「秋冬野菜の栽培について」の講義を予定しています。





自然が奏でる愛のメッセージ。伝え続けたい輝きがここに...

# 2019 麗宝展<sup>®</sup> in JAしまね いわみ中央地区

**開催日時** 8月30日(金)・31日(土)・9月1日(日)  
 9:30~19:00      9:30~18:00      9:30~15:00

**会場** JAしまね いわみ中央地区本部 ふれあいホール  
 浜田市黒川町3741

**お問い合わせ** 経済企画課 TEL 0855-22-8823  
 浜田営農経済センター:TEL 0855-22-8827・江津営農経済センター:TEL 0855-52-2804・三隅営農経済センター:TEL 0855-32-0255  
 金城営農経済センター:TEL 0855-42-1409・弥栄営農経済センター:TEL 0855-48-3223・旭営農経済センター:TEL 0855-45-8080

※当日の入場に関しましては、入場券(無料)が必要となりますので、事前に各支店・出張所・事業所・または上記営農経済センターまでお問い合わせください。

## 無料アフターサービス ジュエリーメンテナンス

ジュエリークリーニング・サイズ直し・修理など会場にて承ります。

<p><b>指輪の変形直し</b></p> <p><b>1本無料!</b> 【通常価格1,080円~】</p> <p>Before After</p> 	<p><b>指輪のサイズ直し</b></p> <p><b>1本無料!</b> (3サイズupまで) 2本目より1本2,160円 【通常価格3,240円~】 (K18・PT850・PT900など)</p> <p>Before After</p>  <p>※通常より幅の広いものや、4サイズ以上大きくする場合は別途料金がかかります。</p>	<p><b>パールネックレス糸替え</b></p> <p><b>1本無料!</b> 2本目より1本1,080円 【通常価格1,620円~】 (糸仕上げ)</p> <p>Before After</p>  <p>※ワイヤー仕上げの場合1本2,160円から</p>	<p><b>切れたネックレスの修理</b></p> <p><b>1本無料!</b> (1箇所に限ります) 2箇所目より540円 【通常価格1,080円~】</p> <p>Before After</p>  <p>※パーツ・部品など欠損の場合は有料となります。</p>	<p><b>ジュエリークリーニング</b></p> <p><b>3本まで無料!</b> 【通常価格1,080円~】</p>  <p>※お磨き</p>
---	---	---	--	---

※特別な修理品は一部有料のものもございます。※シルバー製品のサイズ直し・切れ修理はできません。※ホワイトゴールド製品についてはお尋ね下さい。  
 ※念珠の切れ修理は、有料となります。※金・プラチナ以外の製品はお受けできない可能性があります。  
 ※表示価格は全て税込価格です。※写真はイメージです。

### ご案内 【いわみ中央地域農業活性化促進事業】

地域農業の活性化を図る一環として、リーダー(担い手)を育成するために「いわみ中央地域農業活性化促進事業」を設置し地域農業を支援します。

**【支援内容】**

① 新規作物導入に係る試験栽培経費助成	② パイプハウス助成
③ 農業経営管理に対する支援	④ 6次産業化支援
⑤ 有害鳥獣被害防止対策	⑥ 振興作物導入・規模拡大支援
	⑦ 災害支援

---

### JAしまね農業振興支援事業【いわみ中央地区本部農業振興支援事業】

JAしまね農業振興支援事業では「いわみ中央地区本部農業振興支援事業」要領を定め農業戦略実践3ヶ年計画に基づき、地区本部管内の農畜産物の維持・拡大を推進します。

**【支援内容】**

① 米穀園芸畜産の県域品目拡大に向けた支援	② 北海道初妊牛導入経費軽減支援
③ 農業士会への活動支援	④ 振興果樹に対する導入支援

申請及び事業の詳細は、お住まいの各地区営農経済センターまたは、営農企画課までお問い合わせください。※支援の採択は、経営計画等作成のうえ、審査を経て予算枠の範囲内で決定致します。

**営農企画課 (Tel0855-22-8818)**





営農情報

# あぐりノート

## 教えて野菜作り!

2019年7月号

### 夏に播く秋冬野菜の苗作りについて



最近では7月と言えば、7月豪雨の話題になり緊張感も増す季節となっています。日本では昔から、7月は七夕行事があり、笹に願いを書いた短冊を飾るのが一般的になっています。しかし、七夕という行事自体はアジア圏で主に行われているのですが、実はこの風習は日本でしか行われていないようです。七夕が現在の形になる歴史は次のようにさかのぼるようです。

- ・奈良時代 : 中国の乞巧奠（きこうでん）が日本に伝わる。  
(織姫にあやかって、裁縫の上達を祈願した。)
- ・江戸時代 : 七夕は五節句の一つになり、笹竹に短冊をつけ、芸事上達の願いを書く風習が広がる。
- ・現在 : 芸事に限らず色んな願いを書くようになる。



#### ※五節句

- ・1月7日 七草の節句      ・3月3日 桃の節句      ・5月5日 端午の節句
- ・7月7日 七夕（しちせき）の節句      ・9月9日 菊の節句の五節句

是非今年の七夕には、皆さんと大雨にならないよう願いましょう。

さて、7月中旬には管内でも、小豆の播き時期となります。昨年は、猛暑で小豆の少ない年でした。大豆やインゲンのように、5月中旬から6月上旬に播く豆類よりさらに1ヶ月以上遅い時期となります。昔から、ねむの木の花（こうかの花）が咲き始めたら小豆の播き時のサインとして現在でも活かしておられます。まだ間に合いますので計画されたいかがでしょう。

#### ○秋冬野菜の苗作りについて

キャベツ、ハクサイ、カリフラワー（アブラナ科）等は、「セルトレー」（128穴用）か「プラグポット」（144穴用）で、1穴1粒播き、ポリポットでは1穴に1〜3粒播きとし、子葉展開時に1本にします。

特に種子の大きいものはポリポット播きとし、種子の小さいものをセルトレーかプラグポットがよいでしょう。それぞれ十分かん水した後種を播き、薄く覆土をします。用土は、セルトレー、プラグポットには「与作N150」、ポリポットでは「JAの土」などがよいでしょう。定植は25〜30日育苗で、本葉3〜3.5枚くらいです。

レタス、春菊は（キク科）、パセリ、ミツバは（セリ科）、それぞれ簡単そうですが、共に種子が小さく、またセリ科は発芽するまでは特に水を必要としますので水稻の育苗箱又はこれくらいの浅い箱に「JAの土」を入れ、かん水後うすくバラ播きし、覆土は種が隠れる程度にし、さらに新聞紙をかけ、その上から水をかけて土が乾かないようにすると良いでしょう。

発芽後、本葉1.5〜2枚で「セルトレー」か「プラグポット」に箸で穴を開けやさしく植え替えます。用土は「JAの土」がよいでしょう。播種後30〜35日頃の本葉3枚程度の若苗を定植します。

1枚の育苗箱に3〜4種類播いても30〜40本づつの苗は確保出来ます。朝日があたり日中5〜6時間、日の当たる所で管理しましょう。作物によってこれを半月ぐらいつづらして、播種、育苗し、長く収穫しましょう。

#### ○連作の可否について

相談を受ける作物の病気に根こぶ病、根腐病、萎凋病、青枯病、疫病など収穫皆無の病気があります。これは一つの原因に **連作障害** があります。同じ野菜を続けて作らなくてもカブ、キャベツ、高菜、白菜など同じアブラナ科同士でも症状が出やすくなります。

出来るだけ、科の違う作物を植えることが大事ですが、休作期間を知っておくと便利です。参考にして下さい。



#### 連作の可否

休作期間	作物名
連作可能	カボチャ・タマネギ・ネギ・サツマイモ・ニンジン・ダイコンなど
連作障害が少ない	オクラ・キャベツ・カブ・ゴマ・コマツナ・ミズナ・シソ・スイートコーン ニンニク・ラッキョウ・アスパラガス・ニラ・クワイ・レンコンなど
休作1〜2年	カリフラワー・キュウリ・サラダ菜・シュンギク・ソラマメ・ブロッコリー ホウレンソウ・ミツバ・レタスなど
休作3〜4年	イチゴ・インゲン・エダマメ・ササゲマメ・サトイモ・シシトウ・ショウガ ジャガイモ・ウリ類・セロリ・ナガイモ・トウガラシ・ゴーヤ・ピーマンなど
休作5〜6年	ゴボウ・ハクサイ・トマト・ナスなど
休作7〜8年	エンドウ・スイカなど

- ※ 注 1、連作可能な作物であっても、土壌病害が発生した畑では、連作は不可となります。  
2、果菜類は接木苗を植えることにより、ある程度は連作可能となります。  
3、有機物等の大量投入による土作りをすることにより、休作年限を短縮することが可能となります。





島根県西部農林振興センターからのお知らせ

**熱中症に注意！こまめな休憩と水分補給を！**

農作業中の熱中症による死亡事例は、全国で毎年20人前後発生しており、特に7～8月に全体の82%が発生しています。これからの時期、気温の上昇とともに熱中症のリスクも高まっていくことが予想されます。

熱中症はこまめな水分と塩分補給や積極的な休憩により予防することが可能ですが、農業従事者の中には熱中症の症状に気づかず、知らず知らずに熱中症にかかっている方が多くいます。特に高齢農業従事者は脱水しやすいため、こまめな水分と塩分の補給や休憩を周囲の方が協力して声かけを行うなどの対策が必要です。

※ 代表的な症状は以下のとおりですが、熱中症には特徴的な症状がなく、「暑い環境での体調不良」は全て熱中症の可能性がります



**熱中症対策**

1. 日中の気温の高い時間帯を外して作業を行いましょう
  - ☆ 特に70歳以上の方は、のどの渇きや気温の上昇を感じづらくなるので、高温時の作業は極力避けましょう
2. 作業前・作業中の水分補給、こまめな休憩をとりましょう
  - ☆ 足がつったり、筋肉がピクピクする症状がみられたら、0.1～0.2%程度の食塩水（1Lの水に1～2gの食塩）、スポーツ飲料、塩分補給用タブレットを摂取しましょう
3. 熱中症予防グッズを活用しましょう
  - ☆ 屋外では帽子、吸汗速乾性素材の衣服、屋内では送風機やスポットクーラーなどを活用しましょう
4. 単独作業を避けましょう
  - ☆ 作業は2人以上で行うか、時間を決めて水分・塩分補給の声かけを行うなど、定期的に異常がないか確認し合うようにしましょう
5. 高温多湿の環境を避けましょう
  - ☆ 作業場所には日よけを設ける等できるだけ日陰で作業をするようにしましょう



「食」と「農」の大切さを伝える  
 ～農業体験塾 第一回～

5月25日に浜田市周布町、6月1日に江津市川平町の2会場で開催しました。

農業体験塾は、次代を担う子供たちに、お米について勉強し「食」と「農」の大切さを伝えていくことを目的に行われている活動で、浜田会場が約40名、江津会場が約30名の参加がありました。

両日とも晴天に恵まれ、絶好の田植え日和となりました。初めは田んぼに入るのをためらっていた子供たちも、田植えをしているうちに「楽しくなってきた!」との声も聞かれ、尻もちをついたり泥だらけになりながらも丁寧に苗を植えていきました。

田植えが終わったあとは、女性部さんが作ってくれたおにぎりを食べながら、お米についてのクイズなどをして楽しく過ごしました。

秋には稲刈り体験もあり、自分たちが植えた田んぼの成長を楽しみにしていました。



みんなでさつまいもを植えたよ!  
 ～松原小学校～

6月20日、浜田市立松原小学校の1年生・2年生がさつまいもの苗植えを行いました。

最初にJAの島本職員から写真をみながら色々な植え方があること、それによってできた芋の形が違うことなどの話を聞きました。

今回は紅あずまの苗を一人2本ずつ、うねに植えていきましたが、2年生は昨年体験しているのが上手に手際よく、1年生も楽しそうに作業することができました。

最後に「お芋のことがいっぱいわかった」「みんなと植えて楽しかった」と感想があり、どんな形の芋ができるか、秋の収穫が楽しみです。



赤ちゃんと一緒にバランスボール♪  
 ～こども倶楽部セミナー開催～

6月19日県立体育館にて、こども倶楽部セミナーを開催しました。

今回は、バランスボールインストラクター森春奈先生(めばえの森代表)を講師に、バランスボールでの運動と産後のママのストレッチなどを教えていただきました。

自己紹介やお互いの共通点を話し合うワークから始まり、「子供の名前の最初の二文字が同じ!」など面白い共通点が見つかり、笑い声があがっていました。バランスボールに乗ってリズムに合わせながら親子で運動。ママと一緒に楽しむ子どもたちはとても楽しそうでした。最後に、電気を消した中で寝ころび、両足をバランスボールにのせてリラクゼーション。普段は心とからだの「ON(緊張)」の状態。子育て中はいつも以上に「ON」の状態が続くので、少しでも良いので「OFF」の時間を作りましょう!と森先生からアドバイスをいただきました。次回は10月9日(水)に「赤ちゃんと一緒にバランスボール♪秋編」を予定しています。





## 「食育フェスタin浜田」開催

6月23日浜田市野原町の浜田市総合福祉センターにて「第14回食育フェスタin浜田」が開催されました。食に関する行事に積極的に参加しようをテーマに、食育体験コーナー・展示コーナーなどが設置され子供さんも含め約550名の来場者がありました。冷凍生活アドバイザー（冷凍王子）の西川剛史氏の『家庭で役立つ冷凍術』食材をもっと手軽に美味しく』の講演会があり、日々の生活で実践出来るお話を聞きとても参考になりました。JAの販売コーナーでは、女性部手作りの『角寿司』と、営農部が地元の採れたて新鮮野菜の販売をしました。どちらもとても好評でした。JAはこれからも、食と農の大切さを伝える地域のイベントに積極的に参加していきます。



## たすけあいの精神 (株)オートパルみどりに感謝状

6月21日JAしまねの子会社である(株)オートパルみどりは、社会福祉法人 島根県共同募金会より感謝状を受領しました。



これは「募金機能付き商品協力店」、「募金機能付き自動販売機設置店」として長年にわたり募金を続けてきたことが評価されたものです。「募金機能付き商品協力店」の取組を会社敷地内に設置しています。

みでは、平成23年からオイル交換にかかる売り上げの一部の寄付を開始し、平成29年からは募金機能付き自動販売機を会社敷地内に設置しています。

当日は、浜田市共同募金会の室崎富恵会長より、(株)オートパルみどりの養庵正宏社長に感謝状が贈られました。これからもJAグループは「たすけあいの精神」をもって地域貢献活動を継続して参ります。



## 全職員で地域貢献 ボランティア活動

いわみ中央地区本部は地域貢献活動の一環でボランティア活動を実施しました。

各支店で計画を立て、江津支店・江東事業所は6月1日に市内一斉清掃日に合わせて道路沿いの草刈りと清掃作業を行い、江津西・浜田市内各支店・事業所は6月15日にカーブミラーの清掃・海岸の清掃、公民館の窓ふきや草刈りなど2時間から3時間かけて行いました。

6月15日は、あいにくの雨の中での作業となりましたが、女性部の皆さんや地域の方々に協力いただき、各施設・道路などをきれいにする事が出来ました。毎年恒例の取り組みとなっております、地元の方からのお礼状や公民館便りで紹介をしていただき、職員の励みにもなっています。

これからも全職員一丸となって、地域に根差したJAとして地域貢献活動に取り組んで参ります!!





## 賑やかに開催！金城・三隅 親睦グラウンドゴルフ大会

6月1日、いわみ中央女性部金城（小西喜美子部長）と6月20日、いわみ中央女性部三隅（石本まゆみ部長）はそれぞれ親睦グラウンドゴルフ大会を開催しました。

両支部とも今年度初の活動となり、部員の皆さんの親睦と健康づくりのために毎年開催しています。楽しみにされている部員も多く、暑い中ではありましたが、ホールインワンが出た時には大いに盛り上がり、皆さん和気あいあいと楽しくプレイされました。

結果は次の通りです。

- 金城支部
- 優勝 近重 百合子さん（雲城支部）
  - 準優勝 永見 茂子さん（久佐支部）
  - 第3位 梅岡 美雁さん（雲城支部）
- 三隅支部
- 優勝 河野 好子さん（芦谷支部）
  - 準優勝 大久保やすえさん（芦谷支部）
  - 第3位 山縣 朝美さん（芦谷支部）
- おめでとございます。



## 和気あいあいと軽スポーツ！

いわみ中央女性部江津（平川節美部長）は6月28日Aコープ（ごうつ店2階）にて第1回江津ふれあい学級『軽スポーツ大会』を開催しました。今回の軽スポーツは、わなげ・ストライクボード・スカットボールの3種目を参加者16名で楽しみました。

3チームに分かれ得点をつける係や、ボールを集める係など、チームごとに役割分担を決めて競技を進めていきました。和気あいあいとおしゃべりを楽しみながらも、自分のプレーの時は真剣そのもの！輪を投げたり、ボールを投げる時には集中です。しかし、思わぬ所へ飛んだ時には、皆で大笑い。支部間の交流も深まり、楽しい時間を過ごしました。

各種目、上位3人までには景品（平川部長の手作りクッキーもありました）が用意され表彰式も行いました。平川部長は『ふれあい学級第2回はスタミナ料理教室を行います。これから迎える暑い夏を乗り切るためにも、皆さんで楽しくスタミナ料理を作りましょう』と締めくくりました。

す。これから迎える暑い夏を乗り切るためにも、皆さんで楽しくスタミナ料理を作りましょう』と締めくくりました。







## ● 6月の講義『鎖骨・肩甲骨のコンディショニング&チェアエクササイズ』

6月13日JA女子大学5期生は、6月の講義『鎖骨・肩甲骨のコンディショニング&チェアエクササイズ』に挑戦しました。



講師には、島根県農業協同組合連合会 鐘築健人保健師に来ていただきました。今年の1月のリンパマッサージの講義に続き、『筋肉や関節を整えて身体のリフレッシュ』について講義をいただきました。まず、自分の身体を観察して、頭や体は傾いていないか？肩の高さは平行か？などの癖を知っておくことが大切だと学びました。



チェアエクササイズは音楽に合わせて椅子を使って手軽に出来る運動ですが、体幹や上肢・下肢をバランスよく使うように考えられた運動です。普段使わない筋肉を動かすため、参加者は『普段ほとんど運動をしないので、筋肉痛になりそう!』と言う声が上がりました。講師の掛け声と、音楽に合わせて無理なく楽しいエクササイズで、身体と心のエクササイズとなりました。

## \* JA女子大学OG会 \*

### ～うどん打ち体験～



5月30日、JA女子大学OG会 オリーブ(柳楽真智子会長)は昨年に続き、扇原茶園でうどん打ち体験をしました。

ふたり1組になって小麦粉と煎茶の粉からうどんを作りました。寝かせている間にトッピング用の茶葉を摘みに外へ。茶葉の種類や新茶、二番茶…今は3回摘んでいるというお話など聞きました。



寝かせていた生地を踏んでは伸ばし、また丸め…を繰り返して、コシのあるうどんができました。茹でて水でしめた冷やしうどんに、トッピングは天ぷらや梅干し冷しゃぶなど8種類も用意していただきました。自分達で摘んだ茶葉もカラリと揚がり、衣(ころも)にも茶葉が入って見た目も綺麗でした。他のペアのうどんと食べ比べたりしながら、なかなかのボリュームでしたがペロリと完食!



お茶を使った手作りお菓子やラテ、とても綺麗な色の水出し緑茶などもあり、楽しくおしゃべりをしながらあっという間の3時間でした。

## JAふれあいの集い2019 開催案内

開催日：令和元年8月24日(土) 午後12時30分～午後4時30分

会場：江津市総合市民センター(ミルクウェイホール)

【日 程】	11:30～ 開場・受付開始	15:10～ オープニングステージ
	12:30～ 開会／主催者あいさつ	J A女性部のステージ
	来賓あいさつ	16:00～ おたのしみ抽選会
	13:00～ みどりを守る小学生作文コンクール発表	(J Aしまねの特産品等)
	13:30～ 講演会	16:30～ 閉会
	講師：キニンモント早苗氏	
	(笑いヨガインストラクター)	◎展示・販売コーナー
	14:30～ 《休憩》	展示：女性部・JA女子大5期生・OG会・
	14:50～ 女性部長あいさつ	農業体験等のくらしの活動
		販売：J A特産品・女性部加工品・手芸品



組合員の皆様へ



虹のホールはまだ

令和元年

8月31日(土)  
午後3時~7時30分

# 人形供養祭 夕涼み会



午後3時開始

人形受付  
8/30(金)  
午後3時~午後5時  
8/31(土)  
午前10時~午後2時

★お願い  
不燃物(ガラス製 金属製 陶器製 土製等)はお受けできません。  
ケースは、はずしてお持ちください。



屋外ステージ

午後4時スタート

浜田一中 吹奏楽 ステージ  
JA女性部 有志 ステージ  
ダンスパフォーマンス  
石見神代神楽 上府社中

※イメージです

## 新鮮 特産市

65歳以上限定

無料 生前 遺影写真撮影会

(先着30名様)

生花アレンジメント教室

人形供養祭終了後にご案内

先着30組

※1組1つとなります。

## 葬儀事前相談コーナー

## 縁日 コーナー

※ホール内での飲食は  
ご遠慮ください



## お楽しみ抽選会

天候や事情により変更  
となる場合があります。

お問合せ：JAしまね いわみ中央 葬祭センター

電話：☎ 0120-222-532



浜田市下府町1821-5 (石央物流団地内)



# キラリ いー スポット！ 島の星山「椿の里」 江津市島の星町

江津のほぼ真ん中にある島の星山「椿の里」は、標高470mに位置し、早咲きや遅咲きの様々な椿が長い間楽しめるようになっています。見ごろは、12～5月ごろです。

休憩所やベンチ、展望台もありハイキングにも最適で山頂からの景色は爽快です。

毎年3月には「椿祭り」が開催され、たくさんの方でにぎわいます。

椿の里からは、江津市街を一望できます。日頃の疲れをリフレッシュするために1度椿の里まで行ってみるのもいいかもしれませんよ。



## JALしまね サマーカーンペーン 2019

キャンペーン期間 2019.6.3月ー8.30金 貯金コース



期間中、下記のいずれかのお取引をご契約いただいた個人の方の中から抽選で400名様<sup>(※1)</sup>に **島根の特産品 (3,000円<sup>相当</sup>) プレゼント!**

特産品は **島根県農協青年組織協議会盟友** が生産した、自慢の一品ばかり!

**対象のお取引**

何が当たるかは お楽しみです。

- ① 定期貯金………10万円以上新規または、増額でご契約いただいた方 (期間1年以上) <sup>(※2,3)</sup>
- ② 積立定期貯金…月額1万円以上新規または、増額でご契約いただいた方 <sup>(※2,4)</sup>
- ③ 定期積金………36万円以上新規にご契約いただいた方 (期間3年以上) <sup>(※2,4)</sup>

(※2) 上乗せ金利の適用があるものを除きます。(※3) 窓口でお預入いただいたものに限ります。(※4) 口座振替での掛込に限ります。

**W** チャンス賞

抽選ではずれた方で下記のお取引がある方の中から **抽選で300名様<sup>(※1)</sup>にJAおさいふカードポイント 500ポイントプレゼント!**

令和元年10月末に付与いたします。

- 給与振込口座のご指定 ●年金振込口座のご指定 ●年金受取のご予約
- JAネットバンクのご利用 ●JAカードのご利用

- 応募方法 対象のお取引に対して下記のとおり抽選権をお付けします。  
① 定期貯金 / 10万円を1口として、1本の抽選権がつきます。  
② 積立定期貯金 / 月額1万円を1口として、1本の抽選権がつきます。  
③ 定期積金 / ご契約1口につき、1本の抽選権がつきます。
- 当選発表 令和元年10月中旬頃、ご当選された方に対して当選通知をお送りします。
- 抽選権の失効 抽選日の前日までに対象のお取引が中途解約されていた場合、懸賞抽選権は無効となります。
- 個人情報の取扱 取得したお客様の個人情報は商品の抽選・発送のためのみに使用します。

**投資信託・iDeCoコースもあります!** JAしまね

JAバンクは、どなたでもご利用いただけます。くわしくはお近くのJA窓口までお問い合わせください。

メガネ・補聴器 巡回スケジュール		年金相談会	
8月1日(木)	Aコープやさか前	7月25日(木)	江津支店
8月2日(金)	三隅 旧岡見事業所	7月28日(日)	浜田支店
8月14日(水)	木田店舗前	7月30日(火)	三隅支店
8月15日(木)	上府事業所	8月20日(火)	浜田支店
8月16日(金)	江東事業所		
8月24日(土)	金城宮農経済センター		
8月25日(日)	金城宮農経済センター		
8月26日(月)	三隅支店前		
8月27日(火)	浜田経済C		
8月28日(水)	旧市木事業所前		

ご自身・ご家族のメガネ調整、補聴器点検等 気軽に立ち寄り下さい!!



# 病害虫の予防を万全に ハクサイ

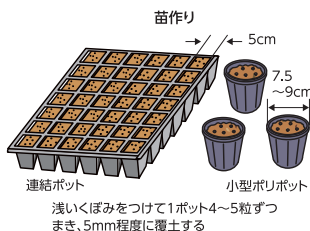
## あなたもチャレンジ! 家庭菜園

園芸研究家 ● 成松次郎

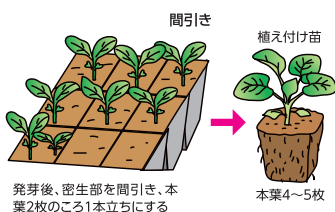
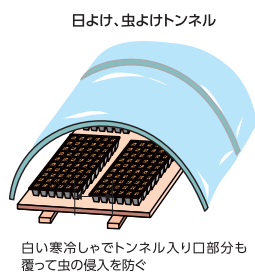
ハクサイの原産地は中国。日本に本格的に導入されたのは明治初年と意外にも新しい野菜です。生育適温は15～20度の冷涼な気候で、寒さに強い冬の代表野菜です。

8月中旬～9月上旬にまき、早生種で種まき後60～70日、中生種で80～100日で収穫できます。

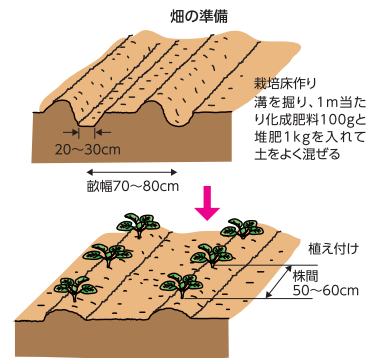
**【品種】**漬物、鍋物用には大型の品種が主流ですが、小型品種もあります。年内取りは、早生品種の「晴黄65」（タキイ種苗）など、中生品種では、黄芯系の「黄ごころ85」（タキイ種苗）、「黄将」（カネコ種苗）など、また、重さ600gくらいの「娃娃菜」（トキタ種苗）、「タイニーシュシュ」（サカタのタネ）などがあります。



**【苗作り】**連結ポットなどに4～5粒まき、途中、間引きをして1株にし、本葉4～5枚の苗に仕上げます。ネットでトンネル状に覆うなどして、虫の侵入を防ぎます。



**【畑の準備】**植え付け2週間前までに1平方m当たり苦土石灰100gを散布し、土とよく混ぜておきます。1週間前までに畝幅70～80cm、深さ20cmの溝を掘り、溝1mにつき化成肥料（N-P-K=10-10-10%）100gと堆肥1kgを入れ、土とよく混ぜて畝を作ります。ウイルス病を媒介するアブラムシの飛来を防ぐには、白や銀色の反射性マルチフィルムを使うと効果的です。



**【植え付け】**植え穴は50～60cm間隔に掘り、畑が乾いていたら穴に水やりをしておきます。植え付けの深さは、子葉の下までの深さになるようにし、株元の土を手でしっかり押さえます。

**【追肥】**本葉10枚のころ畝の肩に化成肥料を1株10gくらいまいて、株元に土寄せします。2回目はその20日後に通路にまき土寄せします。

**【病害虫の防除】**ヨトウムシ、コナガ、アブラムシなどが多いので、オルトラン水和剤などで駆除します。病気の予防には、管理のときに葉を傷めないことですが、軟腐病では発病株を早めに除去し、広がりを防ぎます。

**【収穫】**結球の頭を押さえて、葉に緩みがなく、しっかりしたら収穫時期です。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

## 理事会情報 (5月30日開催)

### 【協議事項】

- ① 令和元年度国庫及び県単補助事業の実施について
- ② 第2次農業戦略実践3ヵ年営農計画について
- ③ 平成30年産島根米買取価格の設定ならびに令和元年度の買入れ手法について
- ④ 自動車販売・整備管理システム統一にかかる開発計画について
- ⑤ 余裕金運用規程の一部改正について
- ⑥ 内部統制システム基本方針の策定について
- ⑦ 島根県常例検査書の回答について
- ⑧ 総代会附議議案「会計監査人の選任について」および監査報酬額の決定について
- ⑨ 平成30年度決算の承認について
- ⑩ 第5回通常総代会への附議議案について
- ⑪ 財務調整に関する取扱いについて
- ⑫ 令和元年度の業績還元額の取扱いについて
- ⑬ 情報システム業務の電算センターへの委託について
- ⑭ 令和元年7月1日付け機構改革の実施について
- ⑮ 葬祭会館「メモリア平田」の改修工事について
- ⑯ 葬祭会館「J Aしまね三隅葬祭会館（仮称）」の建設工事について
- ⑰ 通常総代会にかかる「総代会参考書類」および「議決権行使書」の取り扱いについて
- ⑱ 「正組員加入促進運動」の取り組み結果および今後の取り組みについて
- ⑲ 職制規程の一部改正について
- ⑳ くまびき地区本部「福祉事業」の廃止について
- ㉑ 懲戒委員会要項の一部改正について

(紙幅の関係上、報告事項は省略いたします)



# 消費税率の引上げと軽減税率の影響

影響 ① 免税事業者の判定の影響 ② 簡易課税制度への影響

## 農畜産物を販売する際の適用税率

2019年10月1日より、消費税率が8%から10%に上昇します。これに合わせて **飲食物品(加工品・農畜産物を含む)** については **軽減税率(8%)** が適用されます。

### 軽減税率が適用される(8%)農畜産物

主食用米・野菜・果実・枝肉など、飲食用として販売されるもの

※JAから振り込まれる農畜産物の販売代金は、消費税率8%が適用されます。

### 軽減税率が適用されない(10%)農畜産物

飼料用米・種子・花卉類・素牛など、飲食用として販売されないもの

※JAから振り込まれる農畜産物の販売代金は、消費税率10%が適用されます。

## 委託販売手数料の経理の取扱い変更

軽減税率の導入により、農畜産物(税率8%)と委託販売手数料(税率10%)の適用税率が異なるため、**軽減税率が適用される** 農畜産物を販売した際の、**委託販売手数料** の経理の取扱いが変わります。

※軽減税率が適用されない農畜産物の販売に係る委託販売手数料の経理の取扱いは、変更ありません。

### 2019年9月30日までの取扱い(現行)

販売金額から委託販売手数料を控除した後の金額を課税売上とすることができます。

### 2019年10月1日以降の取扱い

販売金額から委託販売手数料を控除できません。**入金額でなくJAから送付された仕切書や販売代金精算書の販売金額を課税売上**にします。

## 免税事業者の方へ

(基準期間の課税売上高1,000万円以下)

納税義務の有無を判定する際、2019年10月1日以降は、課税売上高の計算上、委託販売手数料を控除できません。

基準期間(2年前)の課税売上高を判定する際に注意が必要です。

## 課税事業者で簡易課税制度を選択中の方へ

(基準期間の課税売上高5,000万円以下)

簡易課税制度の適用可否を判定する際、2019年10月1日以降は、課税売上高の計算上、委託販売手数料を控除できません。

基準期間(2年前)の課税売上高を判定する際に注意が必要です。



お問い合わせは 各地区本部の担当部署 または 税務署までお問い合わせ下さい。下記の専用ダイヤルでも相談が可能です。

国税庁

消費税軽減税率電話相談センター 専用 **0570-030-456**

農林水産省

農林水産省の相談窓口(消費税関係) 専用 **03-3501-1384**

## 農地中間管理機構を活用して 農地の貸し借りを してみませんか!!

**農地を貸したい**

- もう農業をやめたい
- 農地は持っておきたいけど耕作は続けられない
- 経営の規模を縮小したいなど...

**農地を借りたい**

- 農地を増やしたい
- 農地を借りて耕作したい
- 農地をまとめたいたいなど...

地域農業を将来にわたって守るため「農地中間管理事業」を活用しましょう。

公益財団法人しまね農業振興公社 理事長 西田 一朗

## 事業のメリット

**出し手 (農地の所有者)**

- 賃借料は会社から確実に支払うので、安心して農地を預けることができます。
- 農地を借りた人が途中で耕作できなくなっても、関係機関と連携して新たな受け手を探します。

**受け手 (農地を借りたい人)**

- 会社との契約に基づくため、長期間、安心して耕作できます。
- 農地を集積・集約することで、まとまった農地を耕作でき、農作業の効率化、生産性の向上が図れます。
- 複数の所有者から農地を借りている場合でも、契約が一括化され、賃借料の支払い事務が軽減されます。
- 税務署へ提出する「不動産の使用料等の支払い調書」の作成等の事務が軽減されます。(15万円以上の賃借料)

お問い合わせ先 **公益財団法人しまね農業振興公社**  
(島根県農地中間管理機構)  
**TEL: 0852-20-2871**  
e-mail: kousha@agri-shimane.jp URL: https://agri-shimane.or.jp

## 組合員からの情報提供窓口について

当組合の監事は、経営の健全な発展に資するため、農協法(法第35条の5)および農協法施行規則(第81条)に基づき、理事の職務の適正な遂行を阻害する行為に関する情報(組合経営に関する事象に限る)の提供を受付けています。

当組合理事の組合経営に関する気になる行為について、封書またはEメールにて右記宛に連絡くださいますようお願いいたします。

島根県農業協同組合 監事会

連絡先: 住 所 〒690-0887 松江市殿町19番地1  
Eメールアドレス kanji.hon@ja-shimane.gr.jp  
部 署 名 監査部  
受 付 監 事 常勤監事

※当組合の業務に関する一般的な苦情については、担当部署または支店で受付ていただきますのでご利用ください。

※ご好意による情報提供であっても、誹謗・中傷に類似する内容のものは受付いたしかねますので、予めご了承ください。



# しまねうれしび

料理研究家 土井小百合

JALしまねびより

本誌は地球環境に優しい植物油インクを使用しております。



## とうもろこしごはん



### ●材料 (4人分)

米……………	2合	昆布……………	1枚 (5cm角)
とうもろこし……………	1本	酒……………	大さじ1
グリーンピース (あれば)……………	50g	水……………	2カップ
塩……………	小さじ2/3		

### ●作り方

- ①米を洗い30分置く。
- ②炊飯器に米、水、酒、塩、昆布を入れる。
- ③とうもろこしは包丁で芯に沿って実をそぎ取る。
- ④②の炊飯器の中に③のとうもろこし、とうもろこしの芯、グリーンピースを入れ炊く。
- ⑤炊き上がったらとうもろこしの芯、昆布を取り除き混ぜ合わせる。

★旬のとうもろこしを使ったご飯です。口の中でプチプチとした食感と甘味が広がります。芯も一緒に炊くと甘味が増し、味わいが深くなります。



## 簡単豚肉のサッパリ煮(焼き豚風)



### ●材料

豚肉固まり……………	400~500g	ソース	
白ネギ……………	1本	煮汁……………	大さじ3
生姜……………	4枚	マヨネーズ……………	大さじ3
にんにく……………	1かけ	からし	
めんつゆ……………	200cc	季節の野菜……………	適量
水……………	500cc		

### ●作り方

- ①白ネギを5cmに切る。にんにくをつぶす。生姜は薄切りにする。
- ②小鍋に豚肉とめんつゆ、水、にんにく、生姜、白ネギを入れ、落としフタをして火にかけて、煮立ったら弱火で30分煮る。(中に火が通るまで煮る)
- ③冷めるまで煮汁に浸しておく。
- ④豚肉を厚さ1cmぐらいに切る。
- ⑤煮汁、マヨネーズ、からしを混ぜソースを作る。
- ⑥豚肉、野菜にソースをかける。



★タコ糸で縛らなくても大丈夫です。  
★これを作っておけばアレンジ色々！お弁当や忙しい夕食にも便利です♪柔らかくて美味しい！  
★さっぱり食べたい時はモモ肉、豚バラを使えばトロトロ柔らかい出来上がりになります。

### 表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は出雲市佐田町の「八雲風穴」です。約500年前に開山したお寺「福泉坊」の隣にある八雲風穴には、夏になると涼を求め多くの人を訪れます。真夏でも5~10度前後の冷風が出ており、年間を通じて気温の変動が少ないことから、昔から天然冷蔵庫として農林産物の保管などに利用されてきました。

### 編集後記

6月30日の第5回通常総代会にて、新年度事業計画や役員改選をはじめとした全議案が可決承認され、新たな体制がスタートしました。本来であれば本誌にて皆さまへ情報をお繋ぎすべきところですが、製作スケジュールの都合から8月号の特集誌面にてご紹介させていただきます。なお総代会情報は、先行して当JAのホームページへ掲載していますので、ぜひご覧ください。(和)



【今月の表紙の原画】  
レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっております。原画の全体は次のとおりです。

JALしまね 公式ホームページ  
https://ja-shimane.jp/

2019年7月17日付発行 (月1回発行)  
編集 / JALしまね ふれあい福祉課・いわみ中央地区本部  
発行 / 島根県農業協同組合 いわみ中央地区本部  
〒697-0024 浜田市黒川町3741番地 TEL.0855-22-0202 FAX.0855-23-3184